

三鷹市立第六小学校 令和8年度【音楽】授業改善推進プラン

	前年度授業改善推進プランの検証	学習状況の現状と課題	指導方法の課題と授業改善策
第1学年		<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○視覚的に楽しめる工夫があり、校歌や学園歌を積極的に覚えようとする児童が多かった。 ○体全体を動かしながら歌うなど、音楽を楽しみながら学ぶ姿勢が見られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習経験の違いから、楽器演奏や歌唱に関して、大きな差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学級担任と音楽専科で連携を取り、個に応じた指導ができるようにする。 ○今後も常時活動にリズム遊びや体を動かす活動を取り入れ、楽しみながら学べる工夫をしていく。 ○特に、長期休みの時には、課題として取り組めるよう、家庭にも投げかけていくようにする。
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽を身体全身で楽しんだり、歌ったりすることができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鍵盤ハーモニカの演奏について、技能面で個人差がある。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌を歌うことが好きな児童が多く、学習活動にすすんで取り組む姿が見られる。 ○鍵盤ハーモニカの運指について、視覚的に理解できる工夫をしたことで、すすんで取り組む姿が見られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習経験の違いから、楽器演奏や歌唱に関して、差がある。また、個別支援を要する児童への対応が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学習習慣5 「家庭学習で、いつ・何を・どんな方法で勉強するか、自分自身で決めて取り組む」を意識した授業を展開する。長期休みの時には、課題として取り組めるようにする。 ○友達と演奏や歌を聴き合ったり、良かったところを話し合える時間を作る。 ○学級担任と音楽専科で連携を取り、情報交換を密に行い、個別支援に活かす。
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌や演奏、身体表現などの音楽を用いた活動や表現を楽しみながら取り組むことができた。 ○鑑賞の時間を設け、お互いの演奏や歌を聴き合い、良さを伝え合えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鍵盤ハーモニカの演奏について、技能面で個人差があり、意欲の低下になっている。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌を歌うことが好きな児童が多く、学習活動にすすんで取り組む姿が見られる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リコーダーの息づかいをコントロールすることが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ICTを活用した授業を行うことで、視覚的にもリズムや楽器の扱い方を理解できるようにする。 ○リズム遊び等を通して、リズムや音階の理解、リコーダーの技能に関して子に沿った声掛けの工夫を行う。
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音符をみて、リズムを理解できる。 ○リコーダーの運指を理解し、演奏できた。 ○頭声の発声ができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リコーダーの息づかいのコントロールが課題である。 ○楽曲に思いをもち、表現へすることが課題である。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新しい知識に興味をもち、前向きに取り組む。 ○歌唱については、音を重ねることに興味をもち、響きを感じて歌うことができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リコーダーなど息づかいのコントロールが課題である。 ○楽器での重なりも歌唱と同じように聴く意識をもつことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ICTを活用した授業を行うとともに、互いの演奏や歌を聴き合い、友達の良かったところなどを伝え合う場面をつくる。 ○リズム遊び等を通して、リズムや音階の理解、リコーダーの技能に関して個に応じた声掛けの工夫を行う。
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○頭声の発声で歌うことができた。 ○ペアやグループ活動を通して友達の良さを見付ける活動ができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽を特徴付けている要素を聴き取り、理解できるが、思いをもって表現することが課題である。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽曲に対して興味をもち、伝えたいこと、思いを考えて表現しようとしている。 ○協働しようとする姿が見られるようになってきた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○みんなで作り上げる意識よりも個々の活動成果に意識が行きがちである。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後も常時活動にリズムあそびや音楽の要素の変化を聴き取る活動を取り入れ、個に寄り添った助言の工夫を行う。 ◎小グループ活動を取り入れ、お互いの演奏を聴き合い、発表し、友達の良さに気付く機会をつくる。 ◎楽器の模範演奏の動画を作成して個別最適化な学習を進めたり、演奏をその都度録音して成長を客観的に捉えられたりするようにする。
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループでの活動を通して友達の良さを見付ける活動ができた。 ○自分なりに課題意識をもたせて活動に取り組むことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○音楽を特徴付けている要素を聴き取り、理解できるが、思いをもって表現することが課題である。 	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題に対して試行錯誤しながら学びを合いをしている児童が増えた。前向きに協働して活動に取り組んでいる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○曲想や音楽を形作っている要素から作曲家が意図したものを感じ取り、表現を工夫する能力が十分ではない。 ○一部分の要素に目がいき、楽曲全体に目が向きにくいことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の演奏の様子や模範演奏を撮影し、個別最適な指導に生かす。 ◎ペアや小グループでの活動を取り入れ、課題解決するためにそれぞれの良さ、協働する意識をもてる活動を取り入れる。 ◎音楽的な思いや意図を聴き合い、聴き取ったことを発表し合い、それを基に練習、演奏する場面を設定する。